

異物誤飲



- 生後5ヶ月を過ぎると誤飲の事故が増えます。
 - 口からだけではなく、鼻や耳に入れることもあります。
 - 誤飲で多いのは①タバコ②医薬品③プラスチック製品やおもちゃです。

誤えん・誤飲対処早見表



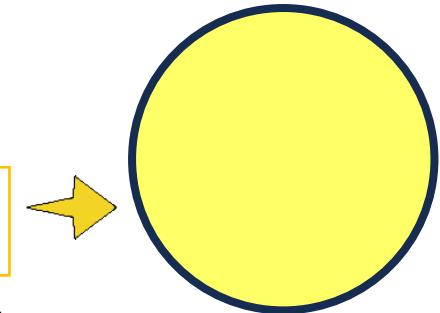
誤飲での受診の際は基本的に

吐かせないで 同じものがあれば持参してください。

誤飲予防ポイント

- ### ①誤飲するサイズ(イラスト参照)

この円を通るものは赤ちゃんの口に入れます！
目安はトイレットペーパーの芯



- ②小さな生活用品は手の届かない高さや場所に
 - ③兄弟の小さなおもちゃに注意
 - ④誤飲しやすい食品に注意・大きな食品は刻む
 - ⑤異物を口に入れているのを発見したときは大声を出さない
発見者が大声を出したり、慌てたり叱ると子どもがビックリして泣き出して
飲み込んでしまうことがあるので慌てず優しく口から出させる。

《気をつける食べ物》



気道にものが詰まったときの対応方法

子どもを大人の太ももの上でうつぶせに乗せて、片方の手で顔を支え、頭を胸よりやや低い状態にします。もう片方の手の付け根で背中の真ん中を何度か連續で叩きます。

東京消防庁の YouTube 背部叩打法

